質問 (有)奥出雲椎茸の経営健全化の方針は

内田　裕紀　議員

町長 健全化方針に基づき、一層の経営改善に取り組む

質問 町HPに公表された経営健全化方針において(有)奥出雲椎茸の経営改善に向けて、生産農家と奥出雲椎茸、そして行政が一体となって取り組むとある。令和5年度の決算において、経常損益の黒字化と債務超過の解消を図るとのことであるが、どのように取り組むのか。

町長 奥出雲町総合計画にも位置づけられているように本町における菌床椎茸栽培は、奥出雲の資源循環型農業の一角を担っている。

今後は、経営健全化方針を基本としつつ、単年度ごとの収量や収支状況を勘案し、ほだ木の品質向上やコストダウン、収量の向上、選果作業の効率化等、一層の経営改善に取り組む。

提案 ほだ木の栽培において品質の向上を追求するあまり、最適な栽培管理システムになっていないのではということと、ほだ木の原材料となるナラ枯れが懸念され、森林の環境整備が急がれるのではないか、改めて検討をお願いする。

奥出雲椎茸集出荷センター

本町の木質バイオマスエネルギー事業について

質問 奥出雲町バイオマス産業都市構想では、本町の森林を整備し、団地化を行い、さらに町内に加熱ボイラーを設置し、脱炭素を意識した循環型の林業を推進するとある。現在は2基稼働しているチップボイラーの稼働状況も含め、この事業の評価と対策は。

町長 この事業の評価としては、玉峰山荘・長者の湯施設の熱源として、重油等の石油燃料に比べて大幅に安価でかつ安定供給できたことと、山林の間伐材、いわゆる林地残材を資源として有効に活用できたことは、カーボンニュートラル推進の面からも効果を認めることができる。

半面、両施設に導入したチップボイラーは、間伐材の含水率の影響により故障が多く、これらの対応が大きな課題である。今後2050年までに温室効果ガスの排出基準を抑えるためにも両施設のボイラーを円滑に稼働させることと、他の施設へも普及拡大を図ることは大変重要であり、それらについて調査を進めていく。

提案 森林整備の財源に、森林環境譲与税が活用されているが、この譲与税は、本町のような中山間地域への傾斜配分になっていない。本来の森林整備の財源になるよう町長のトップセールスにおいて国へ要望をお願いする。

玉峰山荘
チップボイラー施設

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税は、全国の令和2年度実績で6700億円を超える。本町の受入額の見込みと今後の活用は。

企画財政課長 受入額の見込みは3億7000万円、件数は1万6000件を超える。活用については、すべて基金に積んでから、様々な施策に活用していく。

質問 キャッシュレス決済できるカード導入は

景山　利則　議員

町長 可能性について検証を進めていきたい

質問 地元業者の皆さんから、地元消費を喚起し、活気を取り戻す元気なまちづくりのために、一時的なものでなく、長く続くような支援がほしいという要望が出されている。本町には町内で運用されている「たたらスタンプ」があるが、これをさらに進めたキャッシュレス決済ができるカードの導入はできないか。

町長 キャッシュレス決済が可能なカード導入に向けては、商工団体との議論や研究を既に行っており、近隣の先進地へ関係者と出向くなど、導入の可能性について検証を進めて行きたいと考える。この取り組みは官民挙げての大規模な事業であるので、個別事業者を支援する「地域商業重点支援事業」にはなじまない規模となるので、国の補助事業を導入することを想定している。

質問 コロナ禍で物の流れが変わり、買い物の考え方も変ってきた。客を待つ商売ではなく、出かけていく商売つまり、会員登録による予約販売はどうか。そのためにはカラー刷りのチラシが必要になる。印刷費の支援はできないか。

町長 「販路拡大事業」、又は「新事業展開支援事業」での支援が可能である。ぜひとも本事業の活用をいただきたい。

質問 コロナ終息後に、販路拡大に取り組む新たな起業を模索している事業者に対する支援はできないか。

町長 新分野への取り組みを対象とする「新事業展開支援事業」での支援が可能である。ぜひ活用いただきたい。

仁多地域の小学校再編について

質問 仁多地域においては、横田地域と同時の令和7年4月の再編は困難であるとしているがなぜか。

教育長 新小学校施設を整備したうえでスタートするのが最善と考えている。町の目指す小学校再編を実現するため、また施設整備期間を確保するためにも、令和7年4月は困難と判断した。

質問 保護者から早期の再編が強く要望されている。複式化が著しい小規模校について、先行編入していく考えはないのか。

教育長 児童数減少等の状況、保護者、校区の判断を踏まえ、「前倒し再編」(編入)の対応をさせていただく旨これまでの校区別協議会代表者会議において説明している。校区からの申し出に応じ随時対応したいと考えている。

小規模校における授業の様子